

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 243



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

問) 昭和館の隣にある、現在工事中の九段会館の歴史について知りたい。軍人会館と言われていた時のことも知りたい。

答) 九段会館と軍人会館の二つを一緒に検索できるように、図書室の利用者端末で所蔵検索を行います。

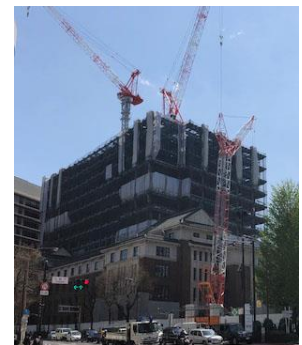
図書→ → と入力し、
「いずれかのことばを含む」にチェックを入れて検索⇒89件

『九段会館のあゆみ (コピー資料)』 (369.37/N71 閉架一般 060003306)

『もう二度と見ることができない幻の名作レトロ建築』
(523/I89 閉架一般 000061153)

『軍人会館競技設計図集』 (525/Ko95 閉架一般 000043941)

図書室では、利用ガイドペーパー「ぶらりらいぶらりい」を毎月配布しています。このNo.203 に九段会館について特集しています。昭和館ホームページでは、過去の「ぶらりらいぶらりい」を順次公開しています。



令和3年(2021)4月撮影

九段会館は平成23年(2011)4月に廃業し、現在工事中です。帝冠様式の外観を保存した状態で、高層ビルとして令和4年(2022)に竣工予定です。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



キャンプこと始め



気候が穏やかになり、外出しやすい季節になりました。最近では新型コロナウイルスの感染対策のため、「密」を避けて郊外でのアウトドアに出かける人も多いようです。その中で注目を集めているのがキャンプです。テレビ番組で特集が組まれ、コマーシャルでもテントを背景に野外で調理を楽しむようすが映し出されます。愛好家の中には、ひとりでキャンプを行う「ソロキャンプ」を楽しむ人も続出し、密かなブームとなっています。

戦前の昭和にもキャンプが流行した時期がありました。旧鉄道省がキャンプ、登山、スキーなどの野外活動を推進したためです。専用列車の特設や割引切符を販売した他、史跡・皇陵巡りのイベントを開催したことで、郊外に出かける人が急増しました。

一方で行楽先でのマナーが社会問題となりました。現地の住民への迷惑行為や旅行者同士のトラブルも発生し、鉄道省が注意喚起を行うほどでした。

旅行は楽しく愉快なものであるが、旅行中に他人の迷惑になるようなことをする不心得な人が往々にしてあるので、折角の楽しい旅行が邪魔されて不愉快なものになることがある。旅行中はお互い〔原文ママ〕に旅行道徳を守ってすべての人が愉快地に旅行の出来るよう心がけたいものである。

『旅行手帖 昭和10～11年版』（290/R97 閉架一般）

その後、太平洋戦争に突入り、野外活動への統制が厳しくなりました。しかし、昭和20年（1945）に終戦を迎えると、再び人々は郊外へ出かけるようになります。同年11月に復刊した雑誌『旅』には次のような言葉が寄せられています。「観光日本建設のステップが力強く踏み出され、国内体制がこの方向に著しく整備強化されつつあることは〔中略〕主張し続けていた夢と希望の実現に他ならない。」

コロナ禍が続く現在もマナーとソーシャルディスタンスを守ってアウトドアを楽しみたいです。

（※旧かな遣いを新かな遣いに改め、旧漢字を新漢字に改めました。）

参考文献

『十五年戦争下の登山』（786/N84 閉架一般）

『旅 第19巻第8号（昭和17年8月）』（290/Ta12/19-8 閉架雑誌）

『旅 第20巻第11号（昭和20年11月）』（290/Ta12/20-11 閉架雑誌）



ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 243

2021年4月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1